

2026年3月3日

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

CAICA テクノロジーズ、DID/VC アプリの社内試行を開始 ～自己主権型 ID を基盤とした次世代社内 DX の実証へ～

本日、当社子会社である株式会社CAICAテクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役：鈴木 伸）が、下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

(添付)

別紙

『CAICA テクノロジーズ、DID/VC アプリの社内試行を開始

～自己主権型IDを基盤とした次世代社内DXの実証へ～』

(2026年3月3日付の株式会社CAICAテクノロジーズのプレスリリース)

以上

本件に関するお問い合わせ

株式会社CAICAテクノロジーズ 営業部

メール: info-sales@caica.jp

2026年3月3日

株式会社 CAICA テクノロジーズ
問い合わせ先：営業部
TEL：03-5657-3010
メール：info-sales@caica.jp

CAICA テクノロジーズ、DID/VC アプリの社内試行を開始

～自己主権型 ID を基盤とした次世代社内 DX の実証へ～



株式会社 CAICA テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 伸、以下「当社」）は、分散型 ID（DID：Decentralized Identifier）および検証可能な資格情報（VC：Verifiable Credential）を活用したデジタル ID アプリの社内試行を開始いたしましたのでお知らせいたします。

1. 本社内試行の位置付け

近年、Web3 やブロックチェーン技術の進展に伴い、個人が自らの情報を管理する自己主権型アイデンティティ（SSI）の重要性が高まっています。

当社はこれまで培ってきたブロックチェーンおよびデジタル金融分野の技術力を活かし、DID/VC を活用した実用的なソリューションの開発を推進してまいりました。

本取り組みは、実社会実装を見据えた第一段階として、社内での運用検証を行うものです。

2. 運用検証の内容

本アプリでは、社員一人ひとりが自身の DID を保有し、各種証明情報を VC として安全に管理・提示できる環境を構築します。

中央集権型の ID 管理から脱却し、改ざん耐性と透明性を備えた新しい社内デジタル基盤の確立を目指します。

3. 主なユースケース

① 社内表彰の VC 化

プロジェクト貢献や年間 MVP などの表彰実績を VC として発行し、社員のウォレットに付与します。改ざん不可能な形で実績を証明できるため、評価の透明性を高めるとともに、将来的には社外への実績証明としての活用も視野に入れていきます。

② デジタル名刺

社員情報を VC 化し、デジタル名刺として安全に交換・保管できる機能を実装します。真正性の検証が可能のため、なりすましや情報改ざんリスクを低減し、社内外のビジネスコミュニケーションの信頼性向上を図ります。

③ 技術経歴・業務経歴の管理

保有資格、参画プロジェクト、スキル情報などを VC として記録・管理します。これにより、スキルの真正性を担保した形での社内配置やプロジェクトアサインが可能となり、人材活用の高度化を実現します。

④ 人事評価制度との連携

人事評価結果やコンピテンシー評価を VC として発行・管理することで、評価プロセスの透明性を向上させます。社員自身が評価情報を主体的に管理できる仕組みにより、公正性と納得感のある制度運用を支援します。

⑤ 社内連絡・コミュニケーションツール

DID/VC を活用した安全なメッセージングや通知機能を実装し、認証と連動したセキュアな社内コミュニケーション環境を構築します。将来的にはアクセス権管理や限定情報配信への応用も検討しています。

4. 今後の展開

第一段階の社内試行は 2026 年 4 月末までの完了を目指します。本社内試行を通じて得られた知見をもとに、当社は企業・金融機関・自治体向けに DID/VC ソリューションの展開を加速してまいります。デジタルトラストを基盤とした社会インフラの実装に向け、実証から本格展開へと取り組みを進化させてまいります。

当社は今後も、ブロックチェーンとデジタル ID 技術の融合による革新的サービスの創出を通じて、安心・安全で信頼性の高いデジタル社会の実現に貢献してまいります。

以 上